

# 令和2年度 第2回太田地域協議会会議録

令和2年8月26日

太田地域協議会

## 令和2年度 第2回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■報告	3
(1) 令和2年度地域枠予算活用事業の申請状況及び実績について	
■協議	7
(1) 令和3年度地域の魅力再発見事業（案）の検討について	
■その他	15
■署名	18

## 令和2年度 第2回太田地域協議会 会議録

---

■日 時：令和2年8月26日 午前10時03分

■会 場：太田支所 2階 会議室

■出席委員：10名

水谷 仁光、鈴木 賢一、倉田 吹紀子、藤本 重政、  
安達 京子、長澤 宏明、熊谷 隆雄、佐藤 隆康、  
伊藤 和子、高橋 直博

■欠席委員：2名

小松 江里子、高橋 英子

■出席職員：8名

谷口 藤美（支所長）	藤澤 寿史（市民サービス課長）
黒澤 伸朗（農林建設課長）	田中 勲男（中仙・太田建設水道事務所長）
草薨 晶子（公民館長）	小林 崇元（東部新規就農者研修施設副主幹）
高橋 正人（地域活性化推進室主幹）	板谷 予理子（地域活性化推進室主任）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 報 告  
(1) 令和2年度地域枠予算活用事業の申請状況及び実績について
- 6 協 議  
(1) 令和3年度地域の魅力再発見事業（案）の検討について
- 7 その他
- 8 閉 会

---

(午前10時03分 開会)

### ○谷口支所長（以下「支所長」と表記）

それでは定刻を若干過ぎましたし、今日出席してくださる予定の方まだお見えになっておりませんが、やがて来てくださると思いますので、今日の地域協議会を始めさせていただきます。

会議を始めます前に、この人数でも定数の半分以上出席していただいておりますので、会議が成立しますことをご報告いたします。また、会議録作成のためにマイクを使って話をしていただきたいと思いますので、どうかご協力のほどお願いしたいと思います。

それでは、会議の進行は会長の方へお願いいたします。

### ○水谷仁光会長（以下「会長」と表記）

はい、それでは、今日は大変お忙しいところ皆さんご参加いただきまして、ありがとうございます。今日は第2回目の会議ということになります。

例年ですと、今時、「熱中症に注意しろ」と、ただこれだけでございました。ただ今年は、新型コロナウイルスのせいで二つ付きました。一つは、「出かける時はマスク忘れるな」ということと、「密にならないように」。あとはもう一つ「帰って来たら手を洗え」と、これが付け足されました。これも熱中症の方は今までどおりなんですけれども、コロナの方に関しては、自分だけかもしれないけれども、人によって考え方に濃淡があるような気がします。ある人に聞けば、「どこに行ってもコロナはいない」と言うんですよ。「どこにもいないし俺にはうつらない」と言うんですよ。もう一人に言わせると「いや、どこにいるかわからないから気を付けなければいけない」と、極端なんです。こういう人たちをどういう風に導いていくのか、非常に難しい部分があるな、と感じています。このコロナは皆さんわかっているとおり、ワクチンが開発されないと、これ絶対治らない病気です。ですから、それにつき合いながら生きていくということなんですけれども、それぞれの対策をきっちりしていかなければな、と私も思っております。

ということで、それでは、令和2年度の第2回地域協議会を開催したいと思います。開会にあたりまして、谷口支所長からご挨拶をお願いいたします。

### ○支所長

改めまして、本日は皆様大変お忙しいの中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

例年であれば8月最終週の土曜日は「大曲の花火」が開催され、市役所内は、その準備に追われているところですが、ご承知のとおり新型コロナウイルス感染拡大防止のために第94回大会は73年ぶりに延期となりました。今年のお盆は首都圏からの帰省客も無く、地域の夏まつりなども中止となりました。春から季節の行事が次々と無くなり、区切りがつかないような感じがしますし、今年は梅雨明け宣言がない変則的な夏となりましたが、

季節はめぐって間もなく収穫の秋を迎えます。大仙市で最も農業が盛んな太田地域ですので、稔り豊かな秋となることを願わずにはられません。

さて、本日の地域協議会のメインは、来年度の「地域の魅力再発見」事業についての検討です。委員の皆様から提案していただいた内容について、実現化に向けて検討したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また今回の地域協議会から、会議の他に太田地域を学ぶ時間を設けたいと考えております。太田地域に長年住んでいても、知らないこと、名称や場所程度は分かっているけれども詳しくは分からないことなどがたくさんあると思います。私も職員も、研修を兼ねて委員の皆様と一緒に勉強していきます。その初回となる今日は、会議終了後、太田文化プラザに移動して、鈴木空如筆の法隆寺金堂壁画の原寸大複製画を見ながら、太田公民館の高橋一倫副主幹から空如の画業について解説をしてもらいます。

この原寸大複製画は、大仙市内でおそらく初めての取り組みとなる、クラウドファンディングで協力をいただいた資金を活用して作成したものです。コロナ禍でクラウドファンディングの注目度が高まっているようですが、空如のクラウドファンディングはコロナ禍の前に計画し、3月中旬から5月中旬のクラウドファンディング期間に国の緊急事態宣言が発表され、資金が集まるかどうか心配しておりましたが目標額達成となり、7月21日の空如の命日に除幕式を行いました。

なお、次回以降の研修については、委員の皆様からの要望や、例えば委員の皆さんの勤務先、あるいは花壇づくりなど集落活動で頑張っている様子など、公共施設や公的事業にかかわらず広く勉強したいと思っておりますので、限られた時間ではありますが、本日の次第の7番にあります「その他」のところで、委員の皆様からの研修先や研修内容の提案をお願いできればと思います。

それでは今日の協議会、よろしくお願いいたします。

## ○会長

はい、ありがとうございました。

次に、次第4に入ります。「議事録署名委員の指名」ということでございますが、こちらの方から指名させていただきます。鈴木賢一委員、安達京子委員にお願いいたします。

つづきまして、次第5の「報告」に入ります。「令和2年度地域枠予算活用事業の申請状況及び実績について」、事務局から報告をお願いいたします。

## ○事務局（地域活性化推進室）

【令和2年度地域枠予算活用事業について、配布資料に基づき説明】

### ・実施類型【①行政主導型】

#### 1 「地域版予算特集号」印刷発行事業

事業目的：令和2年度の太田地域関連予算について、地域住民に、より具体的、より分かりやすくお知らせすることを目的とする。

申請団体：太田支所市民サービス課

申請額：68,970円

2 鈴木空如筆「法隆寺金堂壁画」高精細複製制作プロジェクト応援事業

事業目的：鈴木空如筆「法隆寺金堂壁画」高精細複製画の展示にあたり、照明器具を設置し、複製画の細部まで鑑賞していただくことを目的とする。

申請団体：太田公民館

申請額：225,500円

3 太田文化プラザ環境整備事業

事業目的：太田文化プラザの外壁改修工事施工に伴い支障となる樹木を、伐採・整枝・撤去し、工事を円滑に遂行することを目的とする。

申請団体：太田支所市民サービス課

申請額：161,700円

4 私のおおた等発行事業

事業目的：人口減少により太田地域のことをよく知る人もますます減少し、多くの記憶が風化されてしまうおそれがあることから「私だけが知っている太田」を手記にまとめる。併せて、大仙市ホームページで紹介した太田地域の出来事等を再編し、2冊をセットにして、太田の過去・現在の姿を後世に語り継ぐことを目的とする。

申請団体：太田支所地域活性化推進室

申請額：842,000円

・実施類型【②市民協働型】

5 花いっぱい運動支援事業

事業目的：「花のまち太田」として花のまちづくりを推進し、太田地域の花育活動の強化と連携を深めることを目的とする。

申請団体：おおた花の会

申請額：1,073,000円

6 東今泉集落水路改修事業

事業目的：素掘りの水路が近年の集中豪雨で度々氾濫するため、コンクリート側溝を敷設し、スムーズに通水させることで災害を防止することを目的とする。

申請団体：東今泉部落会

申請額：270,270円

7 鈴木空如筆「法隆寺金堂壁画」複製画除幕式開催事業

事業目的：通年公開し教育の場等でも活用していただくため、クラウドファンディングにより、鈴木空如筆「法隆寺金堂壁画」複製画を制作した。この除幕式の開催により、完成を周知することを目的とする。

申請団体：鈴木空如を顕彰する会

申請額：295,955円

8 川遊び体験事業

事業目的：太田地域の資源である斉内川を利用し、川遊び体験を実施することで、自然に親しみふるさとの良さを実感してもらう。また、お盆期間に実施することで帰省客にも参加していただき、地域に賑わいをもたらすことを目的とする。

申請団体：みずほの里いきいきネット協議会

申請額：95,000円

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・実施類型【③市民主導型】

9 太田分校グラウンド・ゴルフ大会事業

事業目的：グラウンド・ゴルフ等を通して、地域の活性化と異世代交流の促進に取り組む太田分校の活動をサポートすることを目的とする。

申請団体：太田分校サポーターズクラブ

申請額：300,000円

10 秋田県民歌と校歌の90周年をお祝いしよう事業

事業目的：今年は、倉田政嗣作詞と成田為三作曲による「秋田県民歌」の制定と「太田南小学校校歌」の作詞から90周年を迎えるため、児童や教職員でお祝いし、県民歌と校歌の素晴らしさを再確認することを目的とする。

申請団体：大仙市立太田南小学校PTA

申請額：99,241円

## ○会長

はい、ありがとうございました。ただ今、事務局の方から報告がございました。皆さんから、ただ今の報告に対する質問などありましたらお願いいたします。

私から質問してよろしいでしょうか。太田分校サポーターズクラブの方から申請があったということですが、中身についてはよく存じ上げております。その予算のことで聞きたいんですけども、例えば今の新型コロナウイルスの影響で、グラウンド・ゴルフに関するどの大会もそうなんですけれども、大会の直前、要は前日に県内で何かあった場合、即中止です。そういう体制をとっています。何を言いたいのかというと、全部準備してしま

っているわけです。当日配る賞状などは名前書けばいいだけなので来年も使えるでしょうけれども、それ以外の、例えば弁当の注文だとか、味噌汁の具材だとか、買ってしまっ持っているわけです。ということは、事業中止になったからといって「お金返さない」では大変なことになるな、と思いました。ここらへんどうなのかなと思ってお聞きします。

### ○事務局

はい、ただ今の会長のご質問に回答いたしますけれども、掛かったものについては、補助対象として認めますので大丈夫です。事業自体が無くなったということになってしまうかもしれないんですけども、それまで準備の期間等で掛かった経費というのはもちろんあることですので、その分については補助金として交付できます。

### ○会長

はい、わかりました。他に皆さんからご質問などございませんか。

### ○藤本重政委員（以下「藤本委員」と表記）

前も質問したと思いますけれども、実績額が7.42%で、繰り越しができない金額ということで、これから何か地域で探して申請して、今年度中にものにするという考えでいいですか。

### ○事務局

はい、あくまでも繰り越しできない単年度予算となっておりますので、残れば残ったまま市に返すということになります。この総額の中でのやり繰りというのは可能ですので、例えばこちらの方でも予定していない事業というのはもちろんあるわけなんですけれども、今とある集落からこの補助金の活用についてご相談いただいて、間もなく申請という段階になっておりますので、ぜひ皆さんから何か対象となるような事業を探してもらって、活用していただければと思います。

探するのが難しいとすれば、とりあえず私の方に相談していただければ、対象になるとか、これは難しいとか、そういうお返事できると思いますので、まずは何か自分の地域でできることがないか考えてみていただければ大変ありがたいです。

### ○藤本委員

もう一ついいですか。資料3の「東今泉集落水路改修事業」について、こういうものも対象になるんですか。うちの方は、ほ場整備が採択になって、来年から面工事入ってくるんですけども、ほ場整備にかからないところもあって、そういう集落水路関係にも使ってもいいのかどうか。

### ○事務局

この東今泉集落は、水路改修につきましては二度目の申請ということで、以前はまた別



の場所でやったことがあります。それもほ場整備から外れてしまった区域で、本来改良区あるいは市で対応すべきところなんですけれども、材料と機械の借り上げ料だけいただければ、自分たちの労務は必要としないのでやらせていただきたいということで、まさしく市民協働型という形でできた事業です。場所にもよりますけれども、このようなことに使うことは可能です。

## ○藤本委員

わかりました。何か探してみます。

## ○会長

前回、支所長の方からだと思いますが、何々の事業ができないとかじゃなくて、「こういうのをやりたい」という、何でもいいので意思表示をしてほしいという話がありましたので、やれるやれないは別として、自分たちの地域を見渡した場合、「こういうのもあるけどどうだ」ということで、相談をしていただきたいと思います。それが結果として、実行できればみんな良くなることですから、何とか配分された予算は100%使い切るように、皆で頑張っただけで地域のためになるような努力をしたらいかがでしょうか。

他に皆さんから意見、質問等ございませんか。

(質問・意見等無し)

## ○会長

それでは、無いようですので、次第5の「報告」は終わりいたします。

次に、次第6の「令和3年度地域の魅力再発見事業（案）の検討について」、事務局からの説明をお願いいたします。

## ○事務局

【令和3年度地域の魅力再発見事業（案）について、配布資料に基づき説明】

### 1 「和賀岳の恵雫（しずく）」または「真木溪谷の恵雫（しずく）」製造事業

事業概要：既存の日本酒「真木雪華」の他に、新たに真木溪谷の源水を利用し、焼酎・ウイスキー割り用の「炭酸水」と、清涼飲料水の「サイダー」または「ラムネ」を製造し、既存商品とセット販売する。

### 2 花のまち太田おもてなし事業

事業概要：太田地域は、観賞用の花は「花いっぱい運動」により素晴らしい成果を上げている。今後、更に発展した取り組みとしてエディブルフラワー（食用花）を栽培し活用する。

### 3 お年寄りとの文通プロジェクト

事業概要： 高齢者世帯が増えている中、新型コロナウイルスの影響による外出自粛のため社会との交流が減っている高齢者も多い。そのような高齢者と、小学生や中学生から手紙をやり取りしてもらい、交流を通して介護予防へとつなげていく。

### 4 一こころ豊か・和らぐ町・太田一事業

事業概要：「花のまち太田」の活動として、小神成集落で実施されている「一家庭プランタ」を広め、各々の家の路上に設置する。また、少子化や様々な事情により行われなくなってしまった「盆踊り（音頭・太田よい町）」を文化人（民謡同好会、太田分校等）の力を借りて復活させる。

## ○会長

はい、ただ今、事務局の方から説明がありました。皆さんからご意見などありましたら、ということなんでしょうけども、とりあえず進め方色々あると思うんですが、意見はもちろんもらうんですけども、これを提案した人がもしこの中にいて、今事務局の方で説明した中で、「いや、このところちょっとニュアンスが違う」、「もうちょっとこうだったよ」というのがあれば、補足説明を加えてから意見をもらえばいいのかなと思ったんですけども、そういう方おられますか。それぞれ出した人、この内容で十分ですか。

(補足説明等無し)

## ○会長

無いようですので、記載された内容で十分それぞれを出した人たちの意見はまとまっているということを前提にして、意見や聞いてみたいこととか、そういうことでも結構ですから、どなたかありませんか。

それでは、黙っていても出てこないようですので、ちょっと指名してみたいと思います。長澤さんいかがですか。

## ○長澤宏明委員（以下「長澤委員」と表記）

今日初めて参加させていただきました。そもそもこういうことをやっているということ自体、勉強不足でわかりませんでした。地域の魅力再発見事業、予算は1,000万円でしたっけ。

## ○事務局

1,000万円というのは地域枠予算のことで、地域の魅力再発見事業とは別の事業となっております。

地域の魅力再発見事業は、この事業にいくら掛かりますという積み上げた金額を市に要

求して、それを市長が確認して、「じゃあこの事業来年進めてみなさい」ということであれば、その事業に向かっていけるんですけども、その時は予算の査定がありまして、「この分もっと削りなさい」ということがあって、1,000万円なんてなかなか付かない予算となっております。地域枠予算は1,000万円ですけども、こちらはわずかな金額で進めている事業です。

説明不足だったんですけど、今年取り組んでいる事業が「太田分校レストラン」、それから「コミコミ！バスプラン」、それから「太田の伝統食継承事業」、あとは「球根バンク事業」という水仙の球根を集めて道路沿いに植えるという、比較的予算の掛からないことをやっている内容ですので、1,000万円とはまた別の事業となっております。

### ○長澤委員

旧市町村で同じ動きをしているということですか。太田独自の動きということですか。

### ○事務局

地域の魅力再発見事業については、「地域の魅力再発見」ということで、各旧市町村でいろんな魅力があると思うので、それを活かす事業に取り組んでいるため様々です。

### ○長澤委員

はい、ありがとうございます。すいません、知識がついて来ていなくて。

### ○支所長

すみません、若干補足説明をさせていただきます。

今日、この場で最終決定はできるかどうかわかりませんが、皆さんから「この案いいんじゃないかな」という目処をつけていただければ、その事業に向かって担当がいろんな経費の見積もりを持って10月26日に市役所の中でプレゼンをします。それで認めてもらえば来年度の予算取りに向かっていく形になります。プレゼンの日が決まっている関係で、早めに皆様と相談して、早く準備を進めていきたいこともありまして。

「地域の魅力再発見」ということで別枠で予算をもらいます。それ以外に、先ほど担当が「早期に実現できる」と説明したようなものについては、もし今年度できるとすれば地域枠予算を活用するとか、来年度の地域枠予算の中で動いていくということもできると思いますので、できれば皆様方から挙げてもらった案件については、全て実現化の方に向かっていきたいとは思っております。ただ、この中で来年度の地域の魅力再発見事業で取り組むものとして、一つ二つ方向付けをしていただければと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

### ○会長

補足説明がありました。どんどん進めていきたいと思ひます。熊谷委員、何か意見ございせんか。

**○熊谷隆雄委員（以下「熊谷委員」と表記）**

四つの事業、挙げていただいておりますけれども、それぞれに意味のあることだと思います。今の支所長さんの話ですが、この席で「こういう事業を進めた方がいいんじゃないのか」という意見がここから出るといいということでしょうか。

**○支所長**

はい、そうですね。

**○熊谷委員**

先ほど事務局の方から、実現の可能性を考慮した説明がありましたけれども、それぞれの事業に意味があると思います。やはりできるところから、せっかく挙げたアイデアですので、進められたらいいのかなと思います。

説明の「実現可能なもの」ということで、2番と3番に関しては実現の可能性があり、比較的早くできるということですので、この二つに関しては進める方向でできるのであれば、すごくいいなと思います。

1番に関しては非常に希望のある、うまくいくと非常に太田のPRにもなるポテンシャルを持っているなと思いますので、時間を掛けてでも、どんな形でも何か形になるとすごくいいなと思います。以上です。

**○会長**

はい、ありがとうございました。他にも聞いてみたいと思います。藤本委員、いかがですか。

**○藤本委員**

熊谷委員が先ほど言った「実現可能なもの」ということであれば、私としては2番くらいかなと思っています。1番については大賛成ですが、相当の費用、様々な問題があると思うので。6次産業化に向けて将来進めていくにはすごくいいことだなと思いますけれども、実現可能といえば2番かなという感じがします。以上です。

**○会長**

はい、次は倉田委員、いかがですか。

**○倉田吹紀子委員**

はい。すみません、私は無い頭をグルグル回して「あ、締め切りだ」みたいな感じで、「こんなことが広がったらいいな」みたいに考えて提出してしまいました。そういう意味では、ちょっといろんなこと浅かったなと思っています。

4番の、実は夏まつりですけど、見て本当に幸せな気分、参加して元気をもらえる会

なんですけれども、どうしても見る側とする側みたいな感じだったので、今の祭り形式を、最初は消極的かもしれないんだけど、小さな輪が年々大きくなっていけるような盆踊りになったら楽しいかなと思いました。

そして今お話伺ってましたけれども、私もやはり2番が、食に関して皆関心はあるし、事業としても花の会とかいろんな会の方で頑張ってるの聞いていますので、それが実現すれば生活が潤うかなと思いました。

そして3番に関しては、私、今小学生と毎日一緒にいます。やっぱり家族の中で、お年寄りが病気とか入院とかすると、まして今コロナの現状であっては、やっぱり家族って大事なんだなと思っていて。なので、子どものそういう便りが薬にもなるし、元気にもなるし、そういう話を聞いて周りも幸せになるので、もしかしたら学校の授業でもしてる場面があると思うんですけど、これも何かの形で温められる事業かなとは思っています。

## ○会長

はい、ありがとうございます。続いて、安達京子委員、いかがですか。

## ○安達京子委員

安達と申します。よろしくお願ひします。私は仕事柄、高齢者とかかわる機会が多いので、3番を提案させていただいたところです。私も倉田委員と同様、無い頭を絞ったんですけど、仕事の関係で、こういう思い付きが出てきました。

実際、今コロナで外出できないお年寄りとか在宅の方が、すごく多いと思います。私の親類の方でも、この辺の方ではないんですが、それまで公民館とかに出かけて、毎日仲間と麻雀をやってきたということでしたが、コロナでそれができなくなって、認知症が進んで夜寝なくなってしまって、家族が参ってしまって施設に入所させたという話も聞いています。

この辺でも気が付かないだけで、一人暮らしをしていると、やはり認知症が出てくる方が結構いるかと思われまふ。なので、老人ホームの施設のお年寄りも、何もわからなくても子どもさんの声を聞いたり、手を握ったり、肩を叩いたりしてもらったりするとすごく喜びます。自分の孫やひ孫のような感じで、ただ姿を見ただけでも喜びますので、在宅の方にもそういう経験を、直接今現在訪問したりというのは施設の方でも受け入れてないし、在宅の方もそういうふれあう機会というのは本当に無いと思いますので、せめて手紙だけでも、一人暮らしの方とか高齢者の方に届けて、返事を書いてみようという気持ちになっていただければ、また生きがいも見つかって生活に張り合いが出てくるんじゃないかと思って提案させていただきました。

個人的には、今日皆さんの提案を見させていただいたんですが、1番の製造事業ですけれども、これは単年度でできるというものではないと思いますけれども、遠くにいる友達とかに太田の特産品とかを送りたいと思ってなかなか無いので、もしこれが完成すれば、そういう方にもPRになるし、以前「真木雪華」とかも送ったことがあるんですけど、やっぱり喜んでいただきましたので、もっとそういうものが増えれば、太田のPRにもな

るかと思しますので、単年度ではなくて継続的にやっていけたらなと思しました。以上です。

## ○会長

はい、ありがとうございました。鈴木賢一委員はいかがですか。

## ○鈴木賢一委員

はい、鈴木です。まず1番のサイダーを作るというのは、とてもいい案だとは思うんですけども、私事なんですけど、大曲に飲みに行って、飲み屋さんで「真木雪華って飲んだことあるか」と言うと、「真木雪華って何？」と言われたことがあって、認知されていないというのがちょっとショックだなというのがあります。少しその辺工夫が必要ではないかなと思します。何せ、太田地区は国道が無いし、道の駅が無いので、よその地域の人たちの目に触れにくいというのがあるのかもしれないけれども、少し工夫をする必要あるんじゃないかなと感じました。

あとは4番の夏祭りの時に盆踊りを復活させるという話、大変いい話だと思います。今年のご存じのとおりコロナで、高橋地域は何年か間空いたんですが盆踊りを復活させた地域なんですけれども、やっぱり今年はできなくなってしまいました。一回、盆踊りの行事をやめてしまうとなかなか復活できなくて、今年はほとんどやってないでしょうから、じゃあ来年やれるかとなった時に、またかなり苦戦するんじゃないかなと思します。だから、こちら辺は行政がある程度尻叩くというか、そういうような形で段取り組んでくれればやれるんじゃないかなと思しますので、進めていただければなと思します。以上です。

## ○会長

はい、ありがとうございました。高橋直博委員はいかがですか。

## ○高橋直博委員

はい。この四つの各事業、全部魅力がありまして、本当に全部やっていただきたい、協力していきたいというような思いに駆られておりますが、特に今、鈴木さんからもありましたとおり、盆踊りの復活というのは非常に魅力があるなと考えました。

また、同じ項目になるかと思しますが、心和らぐ町という意味で、うちの方にも地域資源と思えるような各家庭の樹木であるとか庭木であるとか原風景だなということも、地域として見れば手を加えられない状態で、もったいないなと思えるものが各集落のいろんなところにあると思します。そういうのが、ゆくゆくどうなっていくのかなという意味では心配な部分で、皆の協力が得られれば、そういうところも継承していけるんじゃないかなとも考えましたので、こういう風な取り組みの中で、地域の一般家庭の中にある個人で手を掛けるのに非常に厳しいような資源もありますので、そういうところも今後考えていただければなとも考えました。自分からは以上です。

## ○会長

はい、ありがとうございます。伊藤和子委員はいかがですか。

## ○伊藤和子委員

伊藤和子です。この事業の案を全部見て、全部、地域でやってみたいなと思ってるし、皆、今コロナでどこにも出ることもできず、会話とか連絡とかも取れず、家にいることが多いと思うので、私は3番の「お年寄りとの文通プロジェクト」とかは、連絡とか先になってやっていただける人がいると、やってみたいな、やっていただきたいなというのはありますね。

2番の「花のまち太田」って、花いっぱいやってるんですけど、こういうのも個人的に、やっていただければと思います。

今、本当に地域で、中里のお祭りも無くなったし、いろんなところで何にも無いと思うので、本当に頑張って4項目実現できればいいなと思っています。以上です。

## ○会長

はい、ありがとうございます。最後になりますが、佐藤隆康委員はいかがですか。

## ○佐藤隆康委員

最後で恐縮です。仕事柄、事業をやるとなれば、男の考え方ではインフラ整備、例えば道路を何とかしたいとか、水路を何とかしたいとか、木を何とかしたいとかっていう方向に考え方がいってしまうんですけども、いろんな人の意見が集まれば、このような人とのふれあい方についての意見が出てくるんだなという感じがして、ちょっと新鮮に思います。

私の意見としては、2番の「花のまち太田おもてなし事業」というざっくばらんな事業の名前が非常に不思議で、どうせ花を植えるのであれば花を活用したもので、人が集まる勉強会を開催する。エディブルフラワー、あまりよくわからないんですけども、種子の購入、栽培ということもあって、それを購入したからには種を植えて花を咲かせる。今、太田の農地はかなりあるんですけども、花をどこに植えるかとなると、例えば農道脇の大豆畑のふちに花を植えてもらって景観を良くするとか、そば畑の脇に例えば花を一行に植えて景観を良くするとか、転作の収入だけでなく、そういうのもちょっと協力していただければなという気になってきました。

加工品の開発となれば、また色々縛りが出てきますから、1番と同じく、誰が、どのような業者に任せて、どのような指導のもとに開発していくかという、色々問題が出てくると思います。それを通じて、人とのふれあいが、集まることによってふれあいが出てくるので、それをもとにお年寄りから子どもまで、色々な人が行き来できる、交流できるようになってくればという思いになってきました。2番が、ちょっと実用的じゃないかなと言う気がします。以上です。

## ○会長

はい、ということで、全員から一通り意見を聞いてみました。それぞれ皆さん、出された意見に対しまして、素晴らしい答えだったと思います。

これはどういう風にまとめるかっていうのは、特にここで「これにしよう」と決めることなんでしょうか。それとも、今出された2番とか3番とか、大まかに「こういう風になったよ」というような、大きくくりでこうなったんだけど、タイムリミットの10月26日にこれに肉付けをして、プレゼンしなければならないというのは確実に決まっているわけです。これに間に合わせるようにやる方法と、途中までだけでも来年まででいいよという話でもないんですよ。だとすれば、どうなのかなというところがあるんですけども、こちらへんどうなんでしょう。大まかに皆さんの意見でいくと、2番3番みたいなのが、今取り組むとすれば、こちら辺が妥当なのかなというようにまとめになるのかなという気がします。

## ○支所長

はい、大変ありがとうございました。大変ありがたい意見を皆様から頂戴いたしました。私の方としては、皆様方から挙げていただいた提案を全て実現化に向けてたいということでは考えております。ただ、来年度実現できるものとなれば、やはり皆さんの意見を聞いて2番あたりかなと。

それから1番については、実は私の方でも下調べをしております。どういう許可が必要かとか、どこに頼めばやってもらえるかくらいは調べておりますので、来年できるか再来年になるかわかりませんが、私の方としても実現化に向けて検討を重ねているところですので、10月26日については少し私の方でも検討を加えて、皆様方の意見を踏まえて、来年度の事業に向けていきたいと思っております。

それから、先ほど申し上げましたとおり、そんなにお金もかからない、時間もかからない、どこかの協力でできるようなものについては、今年度でできるものは今年度、来年度すぐできるものということで、いずれ全て実現したいということで考えておりますので、そういうことで皆様からお話いただいて大変助かりました。ありがとうございました。

それから、1番については私の方で内々に少しリサーチかけたんですけど、例えば2番についても私の方でも考えてみたところです。例えば加工品の開発ということで挙げておりましたけれども、まず手っ取り早くできることからやっていければなということで、ちょっとネットで調べたものなんですけれども、例えばと言うことで写真をお渡しするところです。食用花となれば、やはり新鮮でなければならぬと、日持ちはしないと、しかも栽培するにあたっては、もちろん食べるものですので消毒などは無理だと、しかも綺麗な花でなければならぬと、色々花の栽培も難しい部分があるようです。そういったことで、栽培の勉強会とか書いてあったんですけど、例えばこんなイメージでどうかなということでサンプルとしてお渡ししたところです。こうなれば一般家庭でもできないわけでもないし、太田は食べる花もいっぱい栽培しているんだよということで将来的に向けていければいいかなと考えているところですので、参考までに皆様にお話ししたところです。



以上です。

### ○会長

はい、ありがとうございます。私が一番気になったのは食用の花のところ、私はやってませんでしたけれど、ホップやった時に、農薬かかって結局やめたんですよね。空中散布するのでかからないようにできないんですよ。だから食用の花をどこに植えても全部かかってしまうんじゃないかと思うんだけど、ただ残留濃度ってどのくらいになっていてどうかというのは私はわかりませんが、そこらへん考えるとどうなのかなと。とてもいいことなだけども、どこに植えても綺麗だしいいなと思ったんだけど、そこらへんが一番ネックになってくるかなと。口に入れるものだしなと思ったりしました。

### ○支所長

その辺は今日、新規就農者研修施設の職員も来ておりますので、これから色々相談して進めていきたいと思います。

### ○会長

いずれせつかく皆さんから出された意見ですので、そういうところも色々事務局の方で検討して、実現できるものであれば、ぜひ来年度に向けてプレゼンに間に合うように、そこらへんもうまくプレゼンできるようにしていただければありがたいなと思います。他に皆さんの方から意見ございますか。

(意見等無し)

### ○会長

それでは他に無いようですので、令和3年度の新規事業として、一覧表にあります2番、3番を来年度のメインとして、それ以外についても諦めることじゃなくて、継続的に検討していくということにしていきたいなと思います。事務局で2番、3番については詳細について検討して、ぜひプレゼンに諮っていただくようお願いしたいと思います。これよろしいでしょうか。

### ○支所長

はい。ありがとうございます。

### ○会長

それでは、次に次第7の「その他」に入ります。委員の皆さんから、何か特段の地域情報だとか、困っていることとかございませんか。

私の方から。9月3日に、奥羽山荘に全県から人が集まりまして、グラウンド・ゴルフの大会が開かれます。参加者が、487人くらいの方が来ます。それにスタッフが50名

くらい入りますから、500人ちょっと超えるような形になります。ただ、いつものグラウンド・ゴルフ大会と違って、コロナ対策のために、プレイだけです。何時何分、例えば赤とか青とか旗が立ってるんですけども、その1番に水谷君は8時半に来てください、8時半に出発ですということです。次々と赤・青・黄色・緑と回っていくんですけど、表彰式も、もちろん開会式も、一切ございません。終わったらすぐに帰ってくださいと、そういう大会です。賞状だとかそういうものは、後日「大変ありがとうございました。あなたは入賞です」というのが全部送られてくるということです。当日は何もやりとり無しで、プレイだけ。プレイするときは、苦しい人はマスクを外してください。それからプレイしないときは、マスクをつけてください。それからプレイ中も、人と人の距離をよく考えてくださいというグラウンド・ゴルフ大会になります。そういうのがあるということを情報提供しておきます。あとは、そのあと9月30日になると全県のレディース大会があるんですが、そっちは300人行くか行かないかなので、一番大きな大会がそれです。ただし、さっきもちょっと話しましたが、前日であっても中止があり得るという大会になります。

他に皆さんの方から、情報ございますか。

(特に無し)

#### ○会長

次の予定も入っておりますので、本当は地域情報を皆さんから一人ずつ聞きたかったんですけど、今日は審議のところで皆さんから色々意見いただきましたので、今回は皆さんからは聞きませんが、次回は聞きたいと思います。

他に事務局の方から何かございますか。

#### ○事務局

はい、次回の地域協議会は10月下旬に開催したいと思っております。色々状況も変わってくればなかなかそうもいかないと思うんですけども、前もって早めに通知を差し上げますので、その際はよろしく願いいたします。

#### ○会長

はい、他には何かございますか。

#### ○事務局

はい、この会が終わりましたら、文化プラザの方に移動してもらって説明を聞くことになっておりますので、こちらには帰ってこないつもりで、皆様荷物等忘れずにお持ち帰りいただければと思います。以上です。

#### ○会長

はい、それでは、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。長時間にわたって、ありがとうございました。今、お話ありましたとおり、引き続き太田文化プラザで「法隆寺金堂壁画」の原寸大複製画を鑑賞いたしますので、戻って来ないということですので、荷物をまとめまして、移動のほう準備でき次第お願いしたいと思います。大変ご苦勞様でございました。

(午前11時29分 閉会)

---

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定により、ここに署名する。

会議録署名委員

鈴木 賢一

---

安達 京子

---